

2012 年 7 月 発行

報道関係者各位

被災高齢者がまごころ込めて栽培した「しあわせのじゃがいも」。 いよいよ収穫の時期を迎える

特定非営利活動法人フェアトレード東北（所在地：宮城県石巻市、代表理事 布施龍一）が、株式会社アルコバレーノファームと賛同企業（株式会社ラッシュジャパン、株式会社セリュックス）との協働で、今年 4 月から取り組んできた「ソーシャルファーム事業」において、石巻市北上地域及び東松島市大塩地域の農場で栽培してきたじゃがいもが、無事収穫の運びとなりました。

津波による家屋流失に伴い、全壊、大規模半壊の住民は仮設団地へ半壊や一部損壊認定の家屋の住民はその地域に取り残され、共に近隣住民とのコミュニティが崩壊した事が分かりました。こういった状況から当団体では独居高齢者を中心とした孤立死や自殺問題を打開すべくコミュニティの再形成を行ってまいりました。東日本大震災による被災から少しでも立ち直り、自立して生活して行こうという前向きな思い。もう一度、被災前のような土いじりや野菜作りを楽しみたいという思い。被災避難で失ってしまった友達を、今の避難先で作りたい。そして何よりも「自分はまだ働ける！だから働きたい！！」という思いを胸に、仮設住宅避難者や在宅避難者の中から集まったソーシャルファーム事業への参加者は、のべ 30 名を越えました。

参加者の皆さんは、4 月末からの約 3 ヶ月間、毎週 2 日間を作業日とし、体力的に無理のないペースを保ちながら、一生懸命じゃがいも作りに従事して来ました。

フェアトレード東北ソーシャルファーム事業部のスタッフ間では、今回収穫するじゃがいもを、被災高齢者にとって「仲間が居る幸せ」「仕事がある幸せ」「自分で自立して暮らしていけるしあわせ」それぞれの幸せに繋がるよう、まごころをこめて栽培してきたという思いに由来し「しあわせのじゃがいも」と呼んでいます。

この「しあわせのじゃがいも」は、事業開始当初の予定通り、この事業にご賛同頂いた株式会社ラッシュジャパンには化粧品の原材料の一部として、株式会社セリュックス（株式会社レッドロブスター）には、料理の食材として購入して頂く予定です。

それぞれの形は異なっても、「しあわせのじゃがいも」を使用する人、口にする人みんなを、必ずや「しあわせ」にしてくれるに違いありません。

じゃがいもの収穫作業は、7 月末から 8 月末を予定しており、フェアトレード東北並びにアルコバレーノファームスタッフを始め、託児所オレンジをご利用の保護者とお子さん達、そして、御賛同頂いたラッシュジャパン並びにレッドロブスターの社員の方々とも一緒に行う予定です。



<団体概要>

- (1) 法人名 : 特定非営利活動法人フェアトレード東北
- (2) 代表者 : 代表理事 布施 龍一
- (3) 所在地 : 宮城県石巻市大街道西三丁目 3-54
- (4) 活動内容 : 震災前より石巻市で社会的排除の解決をミッションとして活動を行っていた。震災後はスタッフ全員が被災したが、独自調査をすぐに始め、行政や各団体の手が差し伸べられていなかった限界集落、避難所で孤立した独居高齢者、在宅避難者、障害者、その親に対するニーズに沿った援助を行っている。
- (5) URL : <http://ameblo.jp/fairtrade-t/>

<本件に関するお問い合わせ>

広報担当者名 内海 謙
TEL : 0225-94-6883 / FAX : 0225-94-6885 / E-mail : info@si-tohoku.com